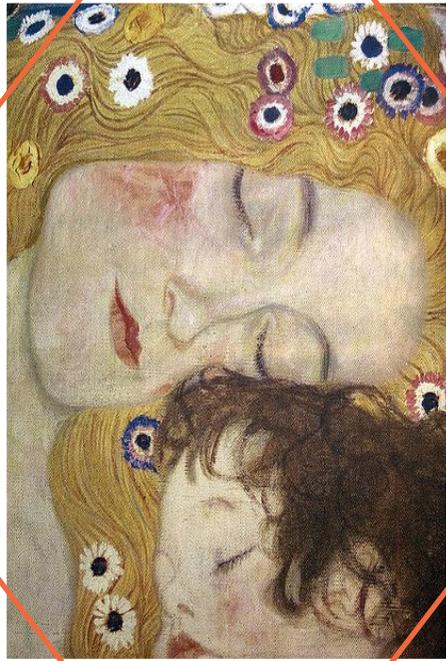


# THE TRUST DIAMOND

## MARIA'S BABIES SOCIETY



Founded in 1986 in The Imperial Gift Foundation of Aiikukai Aiiku Hospital  
Japan's First Bilingual and Bicultural Society for mothers and children



### 21世紀の幼児教育のめざすもの

2019年の感染症パンデミックに始まる世界の変容は、社会の実相に対する意識の覚醒を私達に厳しく促しました。21世紀を生き抜く為に要となる教育とは何なのか、世界共通レベルで不可欠となる明日へのリソースは何か、と問うて参りました。1986年の園創立より日々教育現場で学んだ子供の本質、私を教育者に導いて下さった恩師の方々、そして両親の教え一つ一つを省み、反芻を重ね、その解は「信頼」にあると得心致しました。それは今世界に最も欠け、最も必要であり、「動物社会」にはない「人間社会」の誇りとなる力です。「信頼で成り立つ社会を築くための教育」、それこそが何にも変え難い「子供達の教育の核」となると確信を致しました。

世界はいつの時代も「信頼に値するもの」と「信頼に値しないもの」で構成されています。信頼に値するものからは創造が生まれ、信頼に値しないものからは、いずれ破壊が起きます。この現実を直視し、真偽や本質を厳しく見極める力を育てる事にこそ教育本来の使命があります。

教育の目的が、人々の幸せを創る事にあり、良好な世界を築く為には、人と人、組織と組織、国と国の和が極めて重要であり、その実現は互いの「信頼関係」にあります。21世紀の課題はもはや、一国では、解決が不可能であり、人々が共に知恵と力を合わせねばならない現実をこの数年の世界の変様を通して私達は痛感して参りました。

また、教育は智を育てるものであり、知識の量や高学歴にあらず、理解や創造の過程で、真偽を見極め、選択と決定に全責任をとる勇気等、総合的な人格の育成にあります。故に、教育の高さに比例し、その力を行使する者の人間性が大きく求められ、更には、その人物の幼児教育、家庭教育が問われる事も否めません。

言葉、インターネット、AI、バイオテクノロジー、核に至る、多くの「道具」を人は作って参りました。私たちはそれらの毒にも薬にもなる双刃の剣を「信頼できる世界」の創造のために、豊かな感性をもって、主体的にそして倫理的に使える力を持った未来の子供達を育てねばならない大きな責任があります。

2022年、ポストコロナに向かう開園において、マリアズベビーズソサエティーが1986年の創立より貫いたクレド(教育の信条)を THE TRUST DIAMOND(信頼の菱形)という「象り」に表しました。

この形は、TRUST(信頼)が生かされ、TRUST(信頼)が失われない社会を目指す教育にキーとなる4つの指導要素が小ダイヤモンドとして表現され、大ダイヤモンド THE TRUST DIAMOND(信頼の実現)に内包されています。これら四つの小さなダイヤモンドに象徴されたファクターが然るべき順序で導かれ、成長過程の多くの経験に鍛えられ、子供達は自分らしく、そして人間らしく、21世紀を生き抜く、否、生き切ることができるであろうと、マリアズベビーズソサエティーは固く信じ、THE TRUST DIAMOND(次ページの図表参照)を大切に守り、子供とその家族と真正面から向き合い導いて参ります。

私達大人は、子供達に、誰もが皆幸せにならなければならない責任がある事、人が決して一人では生きられない「社会の一人」である限り、自らの幸せは社会の幸せと表裏一体であり、まずは自分が幸せになる事こそが、小さくも大きい確実な社会貢献であると自覚する事、そして、生まれてきた時代・国・家庭という当たり前ではない偶然の恵みを受け取ったのであれば、そうでなかった立場の社会や人々に貢献することは、自分が幸せになる責任と一体である事を、しっかりと行って聞かせねばなりません。そしてこのような時代だからこそ、「自分こそが人類の代表である。」といった力強い気概を奮い立たせてやらねばなりません。

厳しい時代は姿形を変え、繰り返し私たちの前に現れます。心が折れそうなこの様な時、流されるがままに前進するのではなく、学び、求め、役割を知り、限度を弁え、謙虚さを常に維持し、「受け継いだ命」すなわち「祖先の記憶の結晶でもある自分の個」を生かし切らねばなりません。そして、「自灯明で生きなさい」と子供たちを粘り強く導いていかねばなりません。それがまさに「親力」また「教育の力」でもあります。

自然界の最も硬い金剛石・ダイヤモンドのミネラル(栄養)溢れる、おおらかで清い志が、私たちの目指す「人と人が信頼で結ばれる未来社会」を切り拓き続ける勇気と強く結ばれます事を希います。そして何よりも、其々の子の心のダイヤモンドが、健やかに美しく輝きます事を願っております。

二〇二二年 水無月

マリアズベビーズソサエティー  
園長 松岡まりあ

# THE TRUST DIAMOND

# MARIA'S BABIES SOCIETY

## The Educational Credo of Maria's Babies Society

信頼を共通軸とした

より良い社会を築く為の幼児教育のめざすもの



THE TRUST DIAMOND が成り立つ順序

1) 感謝と尊敬

万物万人に対しての感謝と尊敬を教え

2) アイデンティティ

その子のありのままに誇りを持たせ

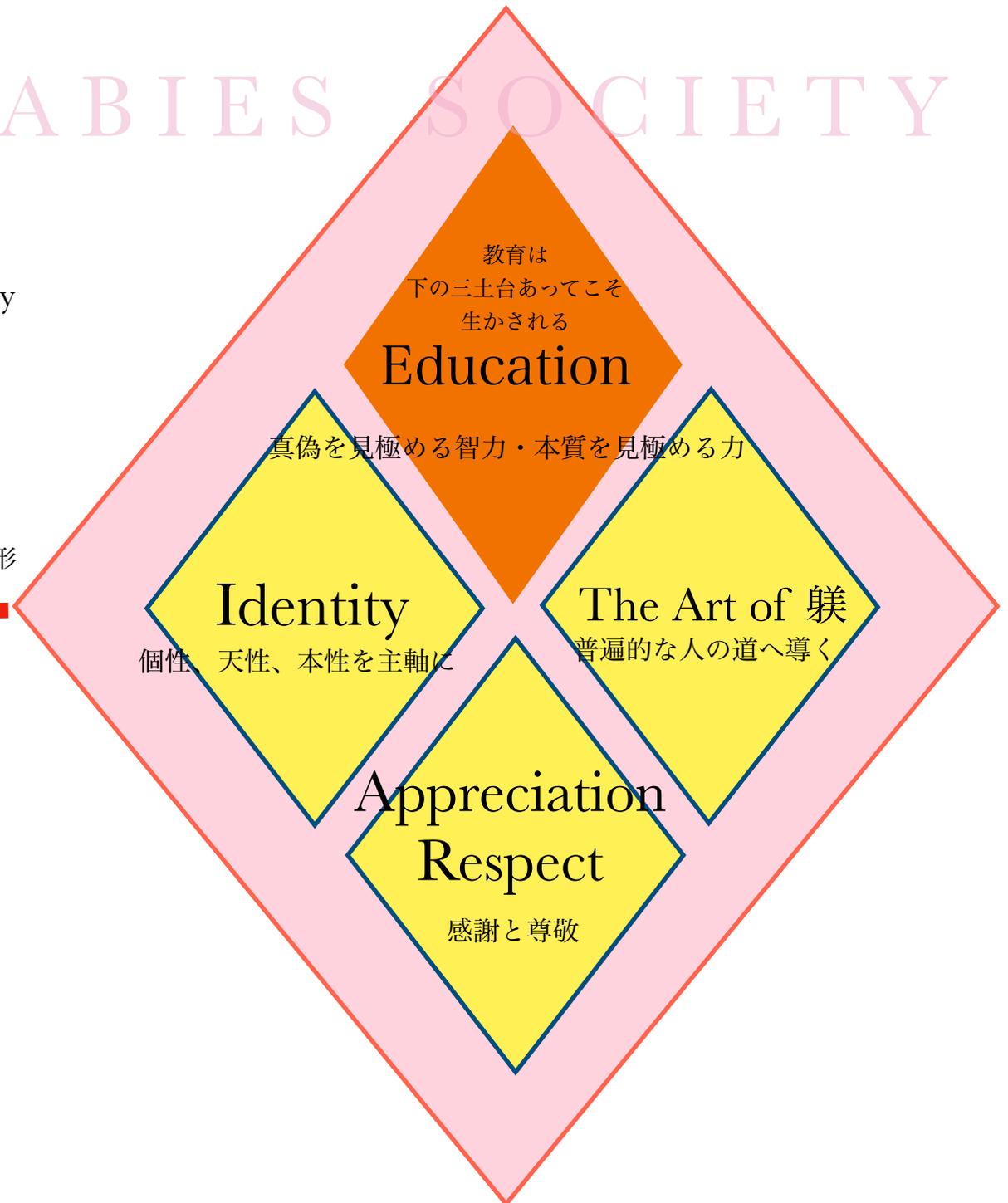
3) The Art of 躰

愛を以って、社会の人となるべく「人の道」を躰（しつけ）

4) Education・教育

その子にあった教育を導き出し

学びの大いなる喜びを伝える



# THE TRUST DIAMOND



信

Maria's Babies Society's Educational Credo

## THE TRUST DIAMOND

五常の徳に重ねて

仁義礼智信

智

Wisdom  
Education

仁義礼の三徳あってこそ生かされる教育の力

仁

自然を受け入れる  
Identity

義

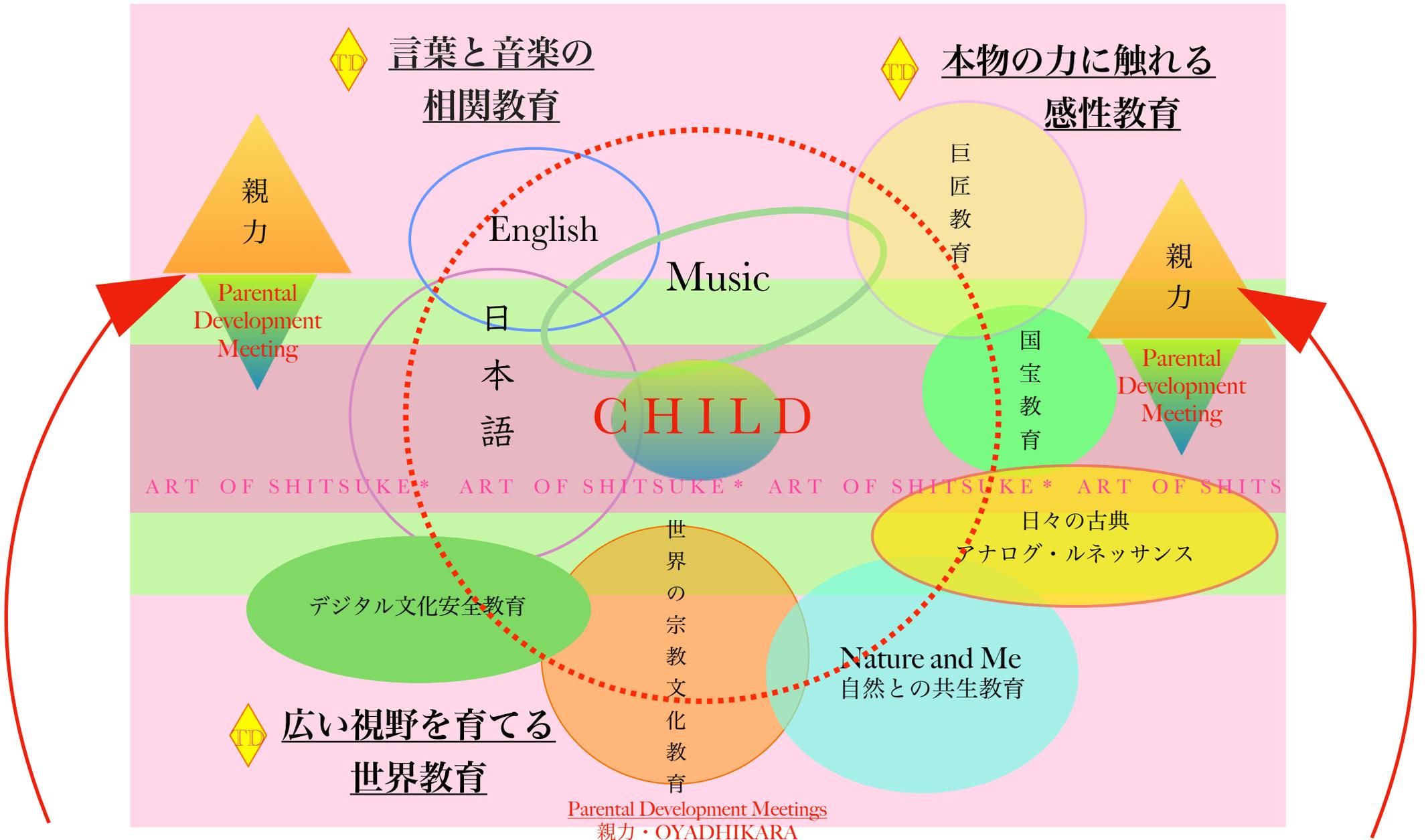
人の道を導く  
The Art of 躰

礼

感謝し敬う  
Appreciation  
Respect



THE TRUST DIAMOND の形に約2500年前の儒教の教えである「五常 / 仁義礼智信」は狂いなく整合します。「信」を「公」に於いて実現する事は、仁義礼智の五常をもってしても困難である事は自明の理であります。同様に、「個」に於いても、自身の志・信念を貫く事は大変困難です。故に幼児期の可塑性も踏まえ、発達の早期に「信」の基礎を丁寧に確実に育てる事は極めて重要です。更には、智は単に学識にあらず、真偽を分ち区別する鑑識力の育成にその本質がある、という理が教育の場において明確に反映されなくてはならない、とマリアズベビーズソサエティーは考えます。



園児たちの指導と共に園では Parental Development Meeting と称する、園と父兄やご家族のプライベートな面談指導が頻繁に行われ、園児のポテンシャルの成長変化を共有し、園と家庭一体での指導が進められます。親御さんの質問や不安などに細やかにお答えし、園児と家族を共に教育いたします。卒業式の無い、子育てという学校に入学した親は、子と共に学び成長し「親力」をつけていきます。